

# 2023年度（2024年3月期）連結決算概要 および 2024年度（2025年3月期）業績予想

## 1.2023年度（2024年3月期）決算実績 <対前期>

### (1)決算実績のポイント 減収減益：減収は3期ぶり、減益は4期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	△ 1,271百万m <sup>3</sup>	工業用（発電専用）需要減等
電力販売量	△ 8,966百万kWh	卸供給先の需要減等
売上高	△ 6,251億円	原料費調整に伴う単価減などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高減等
営業費用	△ 4,240億円	原油価格下落影響などによる「エネルギー・ソリューション」の原材料費減等
営業外損益	+204億円	為替差損益 +83億円、持分法による投資損益 +74億円等
特別損益	+252億円	（当期）投資有価証券売却益 251億円、長期貸付金評価益 22億円、減損損失 △34億円 （前期）投資有価証券売却益 37億円、事業譲渡益 35億円 減損損失 △40億円、投資有価証券評価損 △24億円、長期貸付金評価損 △21億円
株主還元	:1株当たり37.5円の期末配当を実施します（1株当たり年間配当額 70円）。 :400億円・1,700万株（4.2%）を上限に自己株式取得を実施します。	

<2024年3月末現在連結会社数：連結子会社 104社、持分法適用関連会社 23社> (単位:億円)

決算実績表	2023年度	2022年度	増減	%
売上高 (歴代2位)	26,645	32,896	△ 6,251	△ 19.0
営業費用	24,442	28,682	△ 4,240	△ 14.8
営業利益 (歴代2位)	2,203	4,214	△ 2,011	△ 47.7
経常利益 (歴代2位)	2,281	4,088	△ 1,807	△ 44.2
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代2位)	1,699	2,809	△ 1,110	△ 39.5

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライド差(※)	755	2,108	△ 1,353
年金数理差異償却額影響	23	△ 44	67

(※)原料費調整制度で参照する平均原料価格と足元の原料価格とのタイムラグ等による利益影響。

経済フレーム	2023年度	2022年度	増減
為替レート(¥/\$)	144.58	135.50	9.08
原油価格(\$/bbl)	85.97	102.73	△ 16.76
平均気温(°C)	17.5	16.8	0.7

### (2)都市ガス・電力販売量

		2023年度	2022年度	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	2,724	2,802	△ 78	△ 2.8
	業務用	百万m <sup>3</sup>	2,275	2,224	51	2.3
	工業用	百万m <sup>3</sup>	4,741	5,932	△ 1,191	△ 20.1
	計	百万m <sup>3</sup>	7,016	8,156	△ 1,140	△ 14.0
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	1,563	1,616	△ 53	△ 3.2
	合計	百万m <sup>3</sup>	11,303	12,574	△ 1,271	△ 10.1

家庭用：高気温影響等による需要減

業務用・工業用：発電専用需要減等

他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,789 (対前期+88) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,451 (対前期+120) ※取付メーター数は、導管事業者としてのメーター取付数。

		2023年度	2022年度	増減	%	
電力	小売	百万kWh	13,439	12,019	1,420	11.8
	卸他	百万kWh	12,040	22,426	△ 10,386	△ 46.3
	合計	百万kWh	25,479	34,445	△ 8,966	△ 26.0

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要減

小売お客さま件数(千件)：3,871 (対前期+396) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

### (3)セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2023年度	2022年度	増減	%	2023年度	2022年度	増減	%
エネルギー・ソリューション	24,228	30,625	△ 6,397	△ 20.9	2,008	3,624	△ 1,616	△ 44.6
ガス(ネットワーク除く)	17,014	21,496	△ 4,482	△ 20.8	1,472	2,894	△ 1,422	△ 49.2
電力	6,328	8,563	△ 2,235	△ 26.1	352	509	△ 157	△ 30.9
ネットワーク	3,264	3,368	△ 104	△ 3.1	△ 39	59	△ 98	—
海外	1,200	1,599	△ 399	△ 24.9	308	679	△ 371	△ 54.6
都市ビジネス	911	626	285	45.4	229	151	78	51.2
調整額	△ 2,959	△ 3,323	364	—	△ 272	△ 345	73	—
連結	26,645	32,896	△ 6,251	△ 19.0	2,233	4,170	△ 1,937	△ 46.4

(注)「エネルギー・ソリューション」には、都市ガス(ネットワーク除く)、LNG販売、トレーディング、電力、I/Oソリューション等を含みます。

「ガス(ネットワーク除く)」には都市ガス(ネットワーク除く)・LNG販売・トレーディングを含みます。

セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

当連結会計年度より、地域行政・自治体に対するサービス提供体制の見直しを実施したことに伴い、当連結会計年度及び前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しています。

### (4)主要計数 (単位:億円、%)

	2023年度	2022年度	増減		2023年度	2022年度	増減	
設備投資	2,052	2,132	△ 80	D/Eレシオ	0.85	0.81	0.04	0.81
営業キャッシュ・フロー	3,822	4,902	△ 1,080	ROA	4.5	8.3	△ 3.8	※
有利子負債	14,411	12,632	1,779	ROE	10.4	20.0	△ 9.6	※

ハイブリッド社債・ROE考慮後 ※

※発行済みハイブリッド社債・ROEの資本性50%を調整

## 2.2024年度（2025年3月期）業績予想

### (1)通期見通しのポイント 対前期 減収減益（純利益ベース）

都市ガス販売量	+119百万m <sup>3</sup>	23年度の高気温影響などに伴う家庭用の販売量減からの回復等
電力販売量	△1,419百万kWh	卸供給先の需要減等
売上高	△225億円	原料費調整に伴う単価減および電力販売量減などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高減、 「海外」北米シェールガス事業拡大に伴う売上高増等
営業費用	+848億円	「海外」北米シェールガス事業拡大に伴う費用増等
営業利益	△1,073億円	スライド差の剥落などによる「エネルギー・ソリューション」の利益減等

(単位:億円)

	2024年度	2023年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	11,422	11,303	119	1.1
電力販売量(百万kWh)	24,060	25,479	△ 1,419	△ 5.6
売上高	26,420	26,645	△ 225	△ 0.8
営業費用	25,290	24,442	848	3.5
営業利益	1,130	2,203	△ 1,073	△ 48.7
経常利益	1,110	2,281	△ 1,171	△ 51.4
親会社株主に帰属する当期純利益	800	1,699	△ 899	△ 52.9

経済フレームほか	2024年度	2023年度	増減
為替レート(¥/\$)	145.00	144.58	0.42
原油価格(\$/bbl)	80.00	85.97	△ 5.97
平均気温(°C)	16.4	17.5	△ 1.1
スライド差(億円)	94	755	△ 661

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度 (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	39	45	△ 6
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	34	51	△ 17